

電子添文改訂のお知らせ

2026年7-8月

深在性真菌症治療剤

劇薬、処方箋医薬品^{注)}

ノクサフィル[®]錠100mg

(ポサコナゾール錠)

ノクサフィル[®]点滴静注300mg

(ポサコナゾール注射液)

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

このたび、標記製品の電子添文を以下のとおり改訂しましたのでお知らせいたします。

今後のご使用に際しましては最新の電子添文をご参照くださいますようお願い申し上げます。

弊社製品のご使用にあたって、副作用等臨床上好ましくない事象をご経験の際には、弊社MRまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

MSD 株式会社

《改訂概要》

改訂項目	改訂内容
2. 禁忌	『ボルノレキサント水和物』、『パロバロテン』（を投与中の患者）を追記しました。 また、『キニジン』及び『ベネトクラクス』の記載整備を行いました。
10.1 併用禁忌	『ボルノレキサント水和物』、『パロバロテン』を追記しました。 また、『ピモジド』、『キニジン』及び『ベネトクラクス』の記載整備を行いました。
10.2 併用注意	『ベネトクラクス』の記載整備を行いました。

- 今回の改訂内容は医薬品安全対策情報（DSU）No.347（2026年8月）に掲載されます。
- 改訂後の電子添文全文は、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）及び弊社ホームページ（<https://www.msconnect.jp/>）に掲載しております。
- 添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて、以下のGS1バーコードを読み取ることで、PMDAホームページ上の最新の電子添文等をご覧いただけます。

ノクサフィル錠（MSD）



(01)14987185810545

ノクサフィル点滴静注（MSD）



(01)14987185810552

《改訂内容》

改訂後

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

2.1 エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、メチルエルゴメトリン、エルゴメトリン、シンバスタチン、アトルバスタチン、ピモジド、キニジン硫酸塩水和物、ベネトクラクス〔慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の用量漸増期〕、スボレキサント、ボルノレキサント水和物、ダリドレキサント塩酸塩、フィネレノン、エブレレノン、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、マバカムテン、ロナファルニブ、パロパロテン、ルラシドン塩酸塩、プロナンセリン、ボクロスポリン、トリアゾラム、リバーロキサバンを投与中の患者〔10.1 参照〕

2.2 略（変更なし）

10. 相互作用

略（変更なし）

10.1 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
略（変更なし）	略（変更なし）	ポサコナゾールの併用により、CYP3A4が阻害され、これらの薬剤の血漿中濃度が上昇すると予測される。
ピモジド キニジン硫酸塩水和物 [2.1 参照]	略（変更なし）	
ベネトクラクス〔慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の用量漸増期〕（ベネクレクタ） [2.1 参照]	略（変更なし）	
スボレキサント（ベルソムラ） ボルノレキサント水和物（ボルズィ） [2.1 参照]	これらの薬剤の作用を著しく増強させるおそれがある。	
略（変更なし）	略（変更なし）	
パロパロテン（ソホノス） [2.1 参照]	パロパロテンの作用を増強させるおそれがある。	
略（変更なし）	略（変更なし）	
略（変更なし）	略（変更なし）	略（変更なし）

改訂前

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

2.1 エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、メチルエルゴメトリン、エルゴメトリン、シンバスタチン、アトルバスタチン、ピモジド、キニジン、ベネトクラクス〔再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の用量漸増期〕、スボレキサント、ダリドレキサント塩酸塩、フィネレノン、エブレレノン、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、マバカムテン、ロナファルニブ、ルラシドン塩酸塩、プロナンセリン、ボクロスポリン、トリアゾラム、リバーロキサバンを投与中の患者〔10.1 参照〕

2.2 略

10. 相互作用

略

10.1 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
略	略	ポサコナゾールの併用により、CYP3A4が阻害され、これらの薬剤の血漿中濃度が上昇すると予測される。
ピモジド＝ （オ＝ラツヅ） キニジン＝ （硫酸キニジン） [2.1 参照]	略	
ベネトクラクス〔再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の用量漸増期〕（ベネクレクタ） [2.1 参照]	略	
スボレキサント（ベルソムラ） ←追記 [2.1 参照]	スボレキサント の作用を著しく増強させるおそれがある。	
略	略	
←追記		
略	略	
略	略	略

（_____部：自主改訂、——部：削除）

改訂後			改訂前		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
略（変更なし）	略（変更なし）	略（変更なし）	略	略	略
ベネトクラクス〔慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の維持投与期、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の維持投与期、急性骨髄性白血病〕	略（変更なし）	略（変更なし）	ベネトクラクス〔再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の維持投与期、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の維持投与期、急性骨髄性白血病〕	略	略
略（変更なし）	略（変更なし）	略（変更なし）	略	略	略

(====部：削除)

《改訂理由》

2. 禁忌、10.1 併用禁忌

ボルノレキサント水和物の電子添文との整合性を図り、『ボルノレキサント水和物』を追記しました。
『ボルノレキサント水和物』との併用により、ボルノレキサント水和物の血漿中濃度が上昇すると予測されることから、ボルノレキサント水和物の作用を著しく増強させるおそれがあります。

パロバロテンの電子添文との整合性を図り、『パロバロテン』を追記しました。
『パロバロテン』との併用により、パロバロテンの血漿中濃度が上昇すると予測されることから、パロバロテンの作用を増強させるおそれがあります。

ピモジドの国内での販売状況を踏まえて、販売名の『オーラップ』を削除する記載整備を行いました。
また、キニジンの国内での販売状況を踏まえて、一般名を『キニジン硫酸塩水和物』に改め、販売名の『硫酸キニジン』を削除する記載整備を行いました。

ベネトクラクスの適応追加に伴い改訂された電子添文との整合性を図り、併用禁忌の対象について記載整備を行いました。

10.2 併用注意

ベネトクラクスの適応追加に伴い改訂された電子添文との整合性を図り、併用注意の対象について記載整備を行いました。

MSD 株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12
ホームページ <https://www.msd.co.jp/>

製品情報お問い合わせ先

MSD カスタマーサポートセンター
医療関係者の方：フリーダイヤル 0120-024-961
＜受付時間＞9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）

2026年7月
改訂連絡番号：26-09